

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の疾患啓発

研究分担者 小林邦久 学校法人福岡大学 筑紫病院 教授

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症(TGCV)は、2008年わが国の心臓移植症例より見出された新規疾患単位である。中性脂肪が心筋と冠動脈とに蓄積する結果、重症心不全・不整脈・冠動脈疾患をきたす難病である。我々は2009年から本疾患に対する検査法・診断・治療について研究をおこなってきた。本年度においては「TGCV診断基準2020」を診断基準検討委員会委員長として再検討した。また2022年10月15日に中性脂肪学会第5回学術集会を福岡で開催し、TGCVについての知見の共有に加えて、「中性脂肪学」に関する研究報告・教育講演を組織して啓発活動をおこなった。

A. 研究目的

原因不明の難病であるTGCVの診断基準を最新の知見をもとに再検討し、さらには疾患啓発活動を通して、政策課題「医療関連イノベーションの推進」の一助となることを目的とする。

B. 研究方法

TGCVに関する論文をはじめとするデータを再度収集し解析して、Web会議によって検討会議を行った。また研究発表・知見共有・啓発活動として中性脂肪学会第5回学術集会を開催した。

(倫理面への配慮)

疾患啓発であることから倫理面の問題は存在しない。

C. 研究結果

TGCV診断基準検討委員会としては複数回の作業部会の後に6月10日の中性脂肪学会理事会において診断基準改訂の必要性につ

いて検討された。第5回学術集会を2022年10月15日に福岡大学病院福大メディカルホールおよびWeb配信にて開催した(大会長:小林邦久)。テーマを「健康100年を目指す中性脂肪学—九州・沖縄からのメッセージ」として「中性脂肪の解決すべき課題」をはじめとするシンポジウム・特別講演・一般講演をおこなった。

D. 考察

中性脂肪学、なかでもTGCVについての知識共有・疾患啓発の場を提供できた。

E. 結論

診断基準の改訂の必要性について検討した。また学術集会の開催によって疾患啓発をおこなった。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 越智健太郎、小林邦久 高LDLコレステロール血症 臨牀と研究 99(1) 40-46, 2022

2) Hara Y, Ikeda Y, Kimura H, Shimamoto S, Ishikawa M, Kobayashi K, Nagasaka H, Shimoyama H, Hirano KI. A novel homozygous missense mutation in PNPLA2 in a patient manifesting primary triglyceride deposit cardiomyovasculopathy.

Mol Genet Metab Rep. 2023 Feb

10;34:100960. doi:

10.1016/j.ygm.2023.100960. PMID:

36846631; PMCID: PMC9945797.

2. 学会発表

1) 大会長講演：私が経験した中性脂肪関連疾患 小林邦久 中性脂肪学会第5回学術集会 2022.10.15、国内、口頭

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし